

ハッピー 通信



本部 〒890-0032 鹿児島市西陵1丁目8-7 TEL 099-282-7408 FAX 099-296-1733 (事務局 TEL 099-283-6120)



あの、噂の
お弁当屋さんが
いよいよ OPEN !!



〒890-0031

鹿児島市武岡3-5-5

TEL:099-297-4730



ピンチをチャンスに！

一九八九年に「豊かな放課後を」という願いから無認可事業としてスクラムがスタートし、現在は、「子どもから大人まで、地域の中で共に生きる」を願いとして、サポートセンター開、子育てサポートどんぐり、グループホームと事業が拡大しております。振り返れば無認可の時代は、自分たちで寄付金を募ったり、バザー等を行ったりしてその収益を運営費に充ててきました。その苦しい時代を乗り越え、行政に訴えてきたことにより、福祉の分野の予算、補助金等が出るようになり、運営もなんとかできるようになってきました。

しかし、昨今は少しずつ補助金も削られ、補助金をとるための条件も厳しくなっています。人件費が運営費の中でも高い割合を占めていますが「人材は財産」です。人材を守るために、各事業所が経費を抑える努力をしております。良い活動を提供したくても、そこに係る経費を考えると葛藤が生じ、働きにくいのが本音です。また、様々な書類を国から求められ、事務量も増加し職員の負担は増える一方。にっちもさっちもいかない、無認可時代の頃と質は違いますが、今、また苦しい現状に向き合っています。

私たちはこの困難を法人一丸となり乗り越えていきたいと思っています。法人に関わる方々が豊かに過ごせるように、地域の中で輝けるための法人として頑張ります。引き続き皆様のご支援を改めてお願い致します。

文責…児童分野統括責任者 宮島 修一

新事業スタート！！ YU Eats (ユーイーツ)

このたび、就労支援にむけての第一歩として「サポートセンター開の従たる事業所」として「ゆうグループ (YU Eats)」での活動をスタートすることとなりました。

事業所の名前の『ゆう』は、友 (仲間)、佑 (たすけあう)、優 (やさしさ)、勇 (いさましさ)、結う (人との関係を結う)、遊 (あそぶ)、有 (有意義な)、融 (とかす、融和周り打ち解ける) 様々な『ゆう』を実現できたらという願いを込めて命名いたしました。

現在、お弁当、惣菜作り、畑作業、創作活動、余暇活動などの活動を通して、「仕事にやりがい、喜びを」、「地域とつながって働く」、「なかまとの協働」、「好きなこと、もの、ひとを見つける」、「余暇を充実させる」を目標として活動を展開しております。仕事の中心は、



「YU Eats」としての、惣菜、お弁当作りです。利用者さんも、スタッフもまだまだ修行中の身。地域の方々への販売までは先は長いですが、時々販売イベントや注文販売で力をつけていきたいと思います。たくさんの方の、期待と応援をいただいている「YU Eats」今後の展開に、こうご期待です。今後とも、ご支援宜しくお願い致します。



生活介護事業所 サポートセンター開

サポートセンター開は、障害がある利用者の方が仕事や日中活動に取り組む生活介護事業所です。パンやスイーツを作ったり、地域の公園清掃や商業施設で使用されるボールを洗ったり、畑で野菜を作ったり、それぞれが得意な力を発揮し、協力し合いながら取り組んでいます。また、講師の先生を招いての体操や音楽を楽しむ活動にも取り組み、充実した日々を過ごすことを目指しています。



共同生活援助 グループホームハッピー

グループホームハッピーは平成28年11月に開所。現在は男性4名、女性2名計6名 (満床) で生活を共にしております。明るく、笑顔で温かみのある心地の良い雰囲気ของกลุ่มホームです。生活のスキルを高め合いながら、季節の行事や、誕生会などのイベントを楽しんでいます。自室では趣味を楽しむ姿も見られ、ゆっくり安心できる環境で余暇も楽しんでいます。令和2年度よりグループホームの庭に畑を作り、季節に合わせた野菜も作っております。野菜作りは生活の一部となり水撒きから収穫まで利用者さんと職員で協力しながら行っています。



短期入所 ハッピーホーム

グループホームハッピーの併設型事業所で2名定員となっております。利用者さん達は木の温もりが感じられる館内で、テレビやDVDを見て過ごしたり、広いリビングで仲間や職員とゆっくりと語らったりする姿も見られます。ご家族のレスパイトケアの役割も担っており連泊にも対応しています。食事はみんなでおいしく食べられるように地元の食材を使いながら彩りのある栄養バランスの取れたメニューとなっております。心地良い雰囲気で生活の力を付けつつ身辺自立に向けたサポートも行っています。

児童発達支援事業所 子育てサポートどんぐり

私たちは、子ども達の「～したい」という気持ちや願いを大切にしながら、活動や遊びの中で、遊ぶことの楽しさや大人や友達と共にいることの心地良さを感じられるように丁寧に育んでいます。また、その中で、人に懂れる気持ちを膨らませつつ、自分が自分であるための発達の力（身体の力と考える力）と生活の力、それらの基盤となる『自我』を育て、他者と自我とつながりながら互いに育ちあえる環境作りも目指しています。

温泉作りだっ
ホイ サッサ



みんなでケーキを
いただきま〜す

この手に掴まって！
ヨイショ ヨイショ



放課後等デイサービス スクラム

★今年度のスクラム★

スクラムの今年度の実践課題の大きな柱は、「中高生らしい放課後とは？」です。現在登録児の約70%が中高生というスクラム。好きなことや深めたいことが定まりつつある姿、活動の中でより自分の力を感じたい！発揮したい！・・・そしてもっとかっこよくなりたい！かわいくなりたい！子ども扱いはいしないで！という姿が中高生たちの様子から感じられるところです。今年度スクラムではそんな子ども達が自分の好きなことを深めたり、生活の中で力を発揮したり、同年代の仲間と活動を共にし、お互いを意識し合ったり・・・そんな活動の中で「自律に向かっていている自分、大人になっていっている自分」を沢山感じられる放課後の過ごし方や活動提案を模索していきたいと考えています。



大丈夫。
ゆっくりでいいよ！

僕の、私の好きな時間♥



ねえ、見てみて。
僕もすごいでしょ!!



子どもやかなまを真ん中に 親・職員・関係者誰もが育ちあえる関係を大切に



療育（幼児期）から

療育を経て、今

令和3年度 子育てサポートどんぐり卒園児

有川 真由の母

<母の願い>

子育てサポートどんぐりに兄妹そろってお世話になりました。

34週 1854gで生まれた時、ごめんねと思い、この子は大きくなるのだろうか、障害があるのだろうかとても不安でした。しかし育児と生活と仕事の中で、頭の中ではわかってはいる、でも待てないし、怒るし、いらいらするし、そんな毎日でした。真由には、にっこりほめてもらえる、小さな成長に気づいてもらえる、毎日楽しく思い切り怒られることなく遊べる、そんなどんぐりの先生たちに頼ろうと思いました。自分でできないことは他人の手を借りて少しでもよりよく成長して欲しいと思いました。



<我が子の成長>

最初は人になれず、場所になれず心配しましたが、いつも一緒にいてくれる大人と楽しく遊べるようになりました。お友達と手をつないで散歩、かくれんぼ、先生たちにあだ名までつけてお友達と一緒にいたずらしたり、年長さんにあこがれてみたり、年下のお友達に手を差し出すことができたり毎日の遊びの中で、大きく成長しました。毎日、写真付きの連絡帳を親子で読み返し、おいしい給食で人並み以上に大きくなりました。



療育にお世話になり、まだまだなのですが少しばかり親として成長できました。そして異年齢や発達の違うお友達と一緒に過ごすことで、子どもなりに気づき、手を差し出すことができるようになりました。

<新たな一歩に向けて>

まだまだこれから、就学後の勉強方法や理解するためのかわり、友達との関係、社会参加、と気がかりなことがたくさんありますが、療育での経験を時折連絡ノートで振り返り成長できたらと思います。少しでもこれからの子ども達が生きやすくなるように、私もできることをお返しできればと考えています。



ぜひ、開マーケット・焼き芋大会・OBOG会参加できること楽しみにしています。

子どもの育ちを
広く長く考える！

私たち(大人・親・教師・支援者は今を生きる子どもたちにその時々の子どもの好奇心や興味関心とその子らしさを尊重しながらその子のもつ可能性をどう開かせるかを私たち(大人・親・教師・支援者)は共に語り合う必要があります。そうしてその子ども自身の「育ち」を「待つ」ことを大切にしたい。そのことが「さまざまな個性をもつ人たちがその多様性を含めて個性としてそのまま社会の中に包摂すること」インクルージョンへの考え方につながるようになるのではないかと考えます。

前迫



中学部2年生の今思うこと

子育てサポートどんぐり卒園児であり、現在放課後等デイサービススクラムに在籍中の親子（特別支援学校中学部2年生）に、これまでを振り返るインタビューをしました♪

<S君のお母さんにインタビュー>

★療育を経て、就学を迎えた頃の想いを教えてください。（希望、不安など）

いろいろな経験をして楽しく過ごしてほしいと思っていました。どんな教育を受けるのか？自由という言葉がぴったりの息子の集団生活はどうなるのだろう？と思っていました。学校生活は息子にとって新鮮だったのか、魔法がかかったの？と思うくらい落ち着いていて驚いたのを覚えています。



★小学部を経て、中学部の現在までを振り返り思うことを教えてください。（希望、不安などはどう変化しましたか？）

小学部～中学部まで一つ心配事が解決したかと思えば新たな不安が生まれることを繰り返してきたように思います。思春期を迎え、自分の考えが出てきてぶつかることもあり、私も息子への対応の仕方を振り返り成長させてもらえた気がします。希望も不安もずっとついてきますが、息子を信じて前向きに考える自分自身に変化したことを感じています。



★現在までの日々、支えとなってきたことは何だと感じますか？

たくさんあった心配事ですが、ふとした時に子どもの変化と成長が見え喜びへと変わっていくことがありました。そんな時に改めて我が子のためなら何でもやるという気持ちが強くなり励みになりました。

★現在感じる希望や不安なことはありますか？

ずっと思っている希望は人に愛される子になってほしいということです。不安な事は息子の才能を発見して発揮できる職につながるような材料を見つけられるかということです。将来充実した生活を送ってほしいと思います。そのための手助けが自分にどれほどできるのかと不安です。



<S君へインタビュー>

★好きなことは何ですか？

「おしゃべりすること」「面白いことをいうこと」「生き物をとること」「ゲーム」
「恐竜や生き物の図鑑をみながらおしゃべりすること、切り絵をすること」

★「スクラム大好き!」と言ってくれるしど君ですが、スクラムの好きなところは？
「好きなことをしてあそべるところが好き」

★どんなお兄さんになりたいですか？

「おもしろくなりたい」「背が高くて、かっこ良くなりたい」
「背が高くてスタイルがよくなりたい」

★スクラムでやりたいことはなんですか？

「同窓会がしたい。」（スクラムを卒業したお友達や、スタッフの人と会いたい）



明日も行きたい場所を目指して

サポートセンター開 生活支援員 大石 和史

サポートセンター開は「また明日も行きたい」と思える作業所目指して支援に取り組んでいます。しかし、そうはいつでも「また明日も来たい場所」はどんな場所なのでしょう。ただ、「面白い」「楽しい」事が待っている場所なのでしょう、「大人」の利用者の皆さん、そして支援者が集まってどう過ごすことがいいのでしょうか。

『仕事を通して 自分を感じる なかま達』

サポートセンター開では、それぞれの利用者さんの得意な事や興味関心を踏まえて、パン作りや公園清掃、タオルの折り込み作業など様々な仕事に取り組んでいます。これまで経験を積み重ねてきて、以前は難しかった工程が出来るようになったり、分からなかったものが分かるようになってきていたりします。利用者さんたちはそのこと自体にも手ごたえを感じている様子があるのですが、「誰かに頼りにされて、それに応えられた自信」や「大好きなあの人と頑張れた嬉しさ」も感じているように見えます。私たちは、ただ技術的に「できない」を「できる」様にと目指しているのではなく、出来るようになったことを通して、誰かと繋がる、自分の存在の価値を感じられるように支援を行いたいと思っています。



『揺れる思い 人との繋がりを支えに』

しかし、できなかった自分を想像して、なかなか一歩が踏み出せない利用者さんも居ます。その時には利用者さん同士や支援者が支えとなり「この人とならやってみようかな」と挑戦する姿もあります。「出来ない自分を否定されない」事が、次への挑戦に繋がるように思います。

「明日もまた来たい場所」は、利用者さん同士やスタッフ等との繋がりが感じられる場所なのかもしれません。仕事や活動を通して誰かに認められたり、協力し合えたり。そんな自分を誇りに思い、自信がないことでも誰かと一緒に不安でドキドキする中にも少しワクワクが混じってやってみたくなる。

「今週末はあれがあるから」「次の創作ではあれを作ろう」といった余暇的活動の楽しみも、利用者さんの支えになることも忘れずに、「大人」の集団だからこそ、つながり合いを大事に「明日も行きたい場所」を目指していきたいと思っています。



我が子の成長

息子がグループホームハッピーへ入所して五年三ヶ月が経とうとしています。一人っ子の為、甘えん坊で頑固な性格ではありますが、養護学校の寄宿舎で三年間頑張った経験からか、親の心配をよそに早くからホームでの生活に慣れていったように思います。その一方で、自分一人の部屋があるにも関わらず、入所当初の数日以外、部屋で過ごす事も眠る事もせず、毎日リビングのソファで眠る日々でした。理由もわからないまま、そうした生活が約五年続きました。本来なら体調不良を起こしてもおかしくない状況でしたが、たまに寝不足はあったものの、体調を崩すこともなく、生活介護でお世話になっているサポートセンター開へ、毎日元気に通所する事が出来ました。これもひとえに職員の皆様がいとも暖かく見守ってくださっていたお陰だと本当に感謝しております。

そうしたある日、息子が五年振りに自分の部屋で眠り、その日以来1日を除き毎日眠れるようにもなりました。それはあまりにも突然で、職員の方々も私達も大変驚きましたが、そんな息子の成長を共に喜んでくださいました。少し前には録画機能付きのテレビを購入し、録画してくださる番組を見ながら部屋でも楽しく過ごせるようになりました。今ようやく長年の心配がなくなり、やっと安心出来た気がします。そして何より息子自身がそれを強く実感しているかと思っています。

今では、帰省するよりもホームで過ごす方が大好きな息子ですが、これからも職員の方々に指導頂きながら、ゆっくりと前に進んでほしいと思います。それと同時に健康で笑顔の絶えない毎日を送っていただける事を願っています。

グループホームハッピー保護者 Yさん

突 撃!! インタビュー

今回は、グループホームの『野田 雅人さん』にインタビューしてみました!(^_^)



Q: グループホームで何をしている時が楽しいですか?

A: 自分の部屋でゆっくりしている時。

Q: 野田さんの部屋でお気に入りの場所はどこですか?

A: テレビの前。スポーツ、特に野球を見る事が楽しい。

Q: 仕事から帰ってきたら何をして過ごしますか?

A: おやつを食べて、自分の部屋で過ごす。「エグザイル」の動画を見ている。

Q: お休みの日は、どんな事をしていますか?

A: 掃除をして、出かける時もある。

Q: グループホームの食事で好きなメニューは何ですか?

A: 豚肉の生姜焼きが好き。



野田 雅人さん

Q: 庭の畑で何を育てていますか? 野田さんの役割は何ですか?

A: ピーマン、ナス、スイカを育てている。「水かけ」をやっている。

Q: 今後グループホームでやりたいことはありますか?

A: 飲み会。
みんなでわいわい楽しみたい。

Q: グループホームでもっとこうして欲しいという希望はありますか?

A: もっと外出して、海や浜に行きたい。「野球」や「サッカー」も見に行きたい。

Q: 将来の夢や目標は何ですか?

A: エグザイルのライブを見たい。
旅行に行ってラーメンを食べたい。

大切なもの

作詞・作曲：大城友弥

僕たちは自然に生かされている 鳥も花も魚たちも
この自然が大好きだから大事にしていきたい
このきれいな地球を戦の炎で焦がしてはいけない
ららら きれいなままで残していこう
未来へとつなげていくため 美しくのこしていこう

ららら みんなで手を取りあえば
お互いが助けあって生きていける
許しあい助け合っていきていこう
いつまでも平和を祈ろう

※2番歌詞のみ抜粋

平和でなければ！の思いを込めて

沖縄復帰 50 年の今年 2022 年、朝のテレビドラマ「ちむどんどん」楽しんでいます。月間きょうされん tomo5 月号で視覚障害者の大城友弥さんの歌に出会いました。2 月に始まったロシアのウクライナへの攻撃の中、障がいのある方々の状況はどうなっているのだろうかの時、優しい澄み切った声のこの詩に共感を覚えます。

BY 前迫

事業所一覧

児童発達支援事業所 子育てサポートどんぐり

鹿児島市西陵 1 丁目 8-7
TEL：099-282-7408 FAX：099-296-1733

放課後等デイサービス事業所 スクラム

鹿児島市西陵 1 丁目 45-3
TEL：099-283-6130 FAX：099-296-1231

生活介護事業所 サポートセンター開

鹿児島市西別府町 2794-29
TEL：099-283-6120 FAX：099-204-0134

共同生活援助事業所 グループホームハッピー

短期入所事業所 ハッピーホーム

鹿児島市直木町 3399-1
TEL：099-295-4312 FAX：099-295-4315

ハッピーアーカイブス



2005年3月 ハッピーはなみふコンサート

☆ 賛助会員を募集しています ☆

NPO 法人ハッピーでは地域の中でも誰もが安心してひとりの人間として生活していけるように地域生活サポートに関する活動を行い、暮らしやすい町の創造と地域福祉の推進を図ります。私たちの取り組みにご理解くださり、賛同して下さる方を広く募集しています。皆様のご理解とご支援の下、地域に根ざした福祉の向上に努めます。どうぞ宜しくお願い致します。詳しくは本部までお問い合わせください。

賛助会員	個人	一口	2000 円
	団体	一口	10000 円（何口でも可）

【入会方法】振込用紙に、氏名、住所、電話番号、会費種別（個人/団体）をご記入の上、下記口座にお振込みください。その際に、誠に申し訳ありませんが、振り込み手数料をご負担くださいますようお願いいたします。

＜口座名義＞ トクティヒエイリカツドウホウジンハッピー
ダイヒョウシャ ヤマサキヒロノブ

＜口座番号＞ 鹿児島銀行 西陵支店
普通預金 口座番号 545722

お問い合わせ先 NPO 法人ハッピー 099-283-6120（担当：有村）

